

# 海外実地研究2 「ハワイ島の自然と火山活動」

- 期間：** 令和元年9月6日(金)～9月12日(木)
- 場所：** アメリカ合衆国ハワイ州 ハワイ島
- 引率教員：** 高橋正樹 教授, 安井真也 教授
- 特別参加教員：** 鵜川元雄 教授, 加藤央之 教授,  
金丸龍夫 准教授
- 参加学生：** 地球科学科 1～4年生 17名  
社会学科3年生 1名  
合計18名

## 海外実地研究2「ハワイ島の自然と火山活動」の現地実習風景

1



2



9月7日：午前：キラウエア火山山頂部、スチームベントエリアにてキラウエアカルデラ見学（写真1）。ビジターセンターでハワイ島の気象について学ぶ（写真2）。午後：マウナウル1969年噴火の割れ目噴火跡（写真3、4）とプウフルフル火砕丘の調査。

3



4



5



6



9月8日：午後：キラウエア火山東部のアイザックハレビーチパークにおいて2018年の噴火の痕跡を見学。溶岩のオーシャンエントリー地点から沿岸流で運搬された大量の黒砂の堆積により閉塞されたボート桟橋（写真5）と2018年噴火の溶岩流の末端崖（写真6）。

7



8



9月9日：キラウエア火山南東山腹Chain of craters road沿いにて、正断層地形の遠望観察と参加学生による楯状火山の形成史や山体崩壊についての説明（写真1）。キラウエア火山の2000年代の溶岩原においてパホイホイ溶岩の観察と溶岩膨張による表面地形のでき方についての討論（写真8～10）。

9



10



11



12



9月9日つづき：1974年のマウナウル噴火のアア溶岩とパホイホイ溶岩の観察（写真11）。マウナウル（遠景の山）周辺地形とそのラバリバー跡の調査。討論の後の集合写真（写真12）。

13



14



15



16



9月10日：ヒロのライマン博物館とその鉱物コレクション見学（写真13～15）。レインボー滝においてマウナケアとマウナロア火山の溶岩流の境界を遠望観察スケッチ（写真16）。ヒロのキングカメハメハ像前で記念撮影（写真17）。マウナケア山麓の州立公園にて氷河時代の痕跡と火山の成長の関係について学ぶ（写真18）。

17



18



19



20



9月10日：ダニエルイノウエハイウェイ最高地点付近でマウナケアとマウナロア火山の地形見学（写真19、20）。コナのキングカメハメハコナビーチホテルにてルアウショー見学。ポリネシアの文化を学ぶ（写真21）。

21



22



23



9月11日：カロコ・ホノコハウ国立歴史公園でフアラライ火山遠望（写真22の遠景）。同火山のパホイホイ溶岩とそれに彫刻されたペトログリフ（考古学的観察地点）の見学（写真23）